

患者の皆様へ

2018年6月21日
婦人科

現在、婦人科では、「抗 NMDA 受容体抗体脳炎患者における、卵巣奇形腫切除後の神経学的予後に関する後方視的検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では、2010年1月から2018年5月までの期間に当院で診断・治療を行った抗 NMDA 受容体抗体脳炎の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「抗 NMDA 受容体抗体脳炎患者における、卵巣奇形腫切除後の神経学的予後に関する後方視的検討」

2. 研究の意義・目的

「抗 NMDA 受容体抗体脳炎の女性患者において、卵巣奇形腫に関する診断・治療と、治療後の予後について調査する。」

3. 研究の方法

2010年1月から2018年5月までの期間の、症状・髄液検査（抗 NMDA 受容体抗体の有無、抗体価）・画像検査所見（経膈超音波、骨盤 MRI、CT）・診断・治療経過・卵巣手術の有無・病理所見・治療成績について電子カルテより抽出し、卵巣手術と神経学的予後の関連を調べる。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院婦人科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院婦人科

医師 生水真紀夫

043（222）7171 内線6893（婦人科外来）